ロボット支援下胃切除術の有用性・安全性についての検証について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
近年、ロボット支援下胃切除術が普及しつつある。過去の臨床試験では腹腔鏡手術と比べ合併症が低減されると報告されましたが、その後に発表されたＮＣＤデータをまとめた報告では、合併症低減効果を証明できておりません。当院のこれまでの手術成績を集計し、その有用性・安全性について検証を行います。

【対象】
2017 年以降当院でロボット支援下胃切除術を実施した患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】
電子カルテから下記調査項目を抽出し、当院のこれまでの手術成績を集計し、その有用性・安全性について検証します。

【調査項目】
患者背景、手術内容、術後短期成績、長期成績

　なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
西暦　2017　年　10　月　1　日　～　西暦　2023　年　2　月　28　日

【利用する者の範囲】
関西労災病院　消化器外科　益澤　徹、杉村啓二郎、勝山晋亮

【試料・情報の管理について責任を有する者】
関西労災病院　消化器外科　益澤　徹

【研究期間】
実施許可日から　2023　年　12　月　31　日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
関西労災病院　消化器外科

【研究代表者】【当院の研究責任者】
益澤　徹
関西労災病院　消化器外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL：06-6416-1221（代表）
FAX：06-6419-1870（代表）